

社会環境禁煙化 2

タクシー禁煙車両導入への道のり

ニコチン依存症は、周囲の無関心により悪化する

1 2004年浜名湖花博会場の喫煙対策は完璧後は、会場までの公共交通機関への働きかけ

2 そして2006年4月、遠鉄タクシーが続きすかさず新聞投稿し、タクシー啓発講演を開催

遠鉄タクシー代表取締役社長の小高氏を表敬訪問導入を働き、乗務員向け啓発講演の必要性を伝える

快諾し講演会開催に至る

3 遠鉄タクシー乗務員啓発講演 (2006年5月11日18日)

禁煙タクシー導入の目的は、乗務員さんを受動喫煙から守ること!

4 禁煙タクシーに20分間乗ると

生涯で5分間の死亡リスク低減につながる

タバコ病辞典1998年 松崎道幸先生より改変

5

タクシーの受動喫煙

窓閉、3名喫煙 (中田ゆりさん：現産業医大)

評価基準 0.15mg/m³

喫煙中

6 10万人当たりの生涯肺がん発症リスク

10倍

アスベスト・タクシー(仮定)=10倍

乗客からの受動喫煙=1,000倍

乗務員自らの喫煙=2,000倍

禁煙タクシー=0(ゼロ)

タバコ病辞典1998年 松崎道幸先生より改変

7

救急車で搬入

病院で治療

タクシーで退院

発病直後から帰宅まで、治療を有効にするなら無煙環境を用意すべき

8 禁煙車両導入に対し感謝状

こどもをタバコから守る会から感謝状贈呈

しかし、実際は夜間の需要は少なく、下記表示を2000枚作製夜間の盛り場から、禁煙タクシーを呼ぶ行為 → 高い評価

禁煙タクシーのこの用途はこちらまで TEL.053-472-3121

禁煙タクシーお呼びします TEL.053-472-3121

ご希望の方はお気軽にスタッフまでお申し付け下さい。

9

乗務員の禁煙目的の講演会 2007年8月2日 浜松市雄踏文化センター

浜松交通久野社長 遠鉄タクシー小高社長

短命と云われるみなさん、こんにちは。今日は、皆さんが禁煙できるような企画にしました。

自慢と誇りをもって取り組もう

10

シンポジウム

禁煙タクシーは時代の要請

シンポジスト

船橋交通 空田氏

11 マスコミ報道

全車禁煙へセミナー

法個タクから4人出席

東京交通新聞

中日新聞

静岡新聞

タクシー禁煙化は、上層部からのトップダウンで決定。何故、乗務員にすれば必要なのか理解できていなかった。そこで乗務員向け啓発講演DVDを作成し、全国150社に配布。以後、全国でのタクシー禁煙化が推進された。

12

浜松健康家族フォーラム

禁煙タクシー実現のエピソード披露

2008年11月23日(日) アクトシーコンプレックスセンター

13

受動喫煙防止サミットIN浜松

2010年10月9日(土)雄踏文化センター

遠鉄交通タクシー株式会社 社長 鈴木良一

〜どうすれば受動喫煙も止まれるか〜

第1部 各業界代表による意見交換

喫煙被害を無くすように取りたい。2007年8月の「タクシーの日」から、県下一帯に禁煙化を推し進めました。それはこの会場での模様を、DVD映像にして全国配布(150枚)したことで、勇気付けたと言われています。

2年前の浜松健康家族フォーラムでも、京都タクシー協会禁煙化への署名活動を行いました。東京で発表されている社会コンプライアンス(無煙タクシ)も、当時は知らないので使用は観望していません。タクシー空間は、最小の公共空間です。一刻も早く完全禁煙になるように心がけていきたい。

<結語>

- ① タクシー空間には喫煙・受動喫煙・3次喫煙の全てが存在した
- ② 駅・ホテル・医療施設の延長であるタクシー車両空間の喫煙対策は急務である
- ③ タクシー空間は、受動喫煙被害が乗務員・乗客双方に及び、乗務員は押し並べて短命である
- ④ 最小の公共空間を禁煙化することは、喫煙率低減に意義がある
- ⑤ タクシー空間禁煙化もポピュレーションアプローチである